

再エネ出力制御の見通し等について

2022年4月12日

資源エネルギー庁

本日の概要

- 2021年10月28日の本WGにおいて、再エネ出力制御にかかる予見性を高める観点から、年に1回公表している長期見通しに加え、2022年度に再エネ出力制御が生ずる蓋然性の高いエリアにおいては、2022年度の出力行制御見通しについても公表することとした。
- これに基づき、2021年12月15日の本WGでは、北海道、東北、四国、九州、沖縄エリアにかかる2022年度見通しを各一般送配電事業者から試算・公表した。
- このような中、四国エリアにおいては2022年4月9日、東北エリアにおいては2022年4月10日に、再エネ出力制御が初めて発生したところ、実施状況について、四国電力送配電、東北電力ネットワークから御説明いただく。
- また、中国エリアにおいても、足元の事情変化により、低需要期となるGW付近に再エネ出力制御が発生する蓋然性が生じたことから、本件について中国電力ネットワークから御説明いただく。

(参考) 各エリアの再エネ出力制御見通し等

(出所) 第35回 系統ワーキンググループ (2021年12月15日) 参考資料を一部加工

	北海道	東北	中国	四国	九州	沖縄
出力制御率見通し (2022年度) 100%連系線利用の場合 出力制御率(%) [制御電力量(kWh)]	-	0.33% [3,137万 kWh]	0.06% [489万kWh]	0.01% [44万kWh]	5.2% [73,000万 kWh]	0.2% [97.6万kWh]
仮に、エリア全体がオンライン化した場合 出力制御率(%) [制御電力量(kWh)]	-	0.07% [674万kWh]	0.02% [139万kWh]	-	4.9% [68,000万 kWh]	0.05% [20.8万kWh]
出力制御率見通し (2022年度) 50%連系線利用の場合 出力制御率(%) [制御電力量(kWh)]	0.35% [144万kWh]		0.31% [2,706万 kWh]	1.1% [5388万kWh]		
仮に、エリア全体がオンライン化した場合 出力制御率(%) [制御電力量(kWh)]	0%		0.13% [1,172万 kWh]	0.3% [1,334万 kWh]		
最低需要 (2020年度) [万kW]	226.5	595.6	405	191	622.6	55.6
変動再エネ導入量 (2020年度) [万kW]	252	817	600	321	1088	43.0
変動再エネ導入量/最低需要(%) (2020年度)	111%	137%	148%	168%	175%	77%

※1 本表に掲載のない4エリアについては、2022年度に出力制御が発生する蓋然性は低い見通し。

※2 「-」で示している部分は、2022年度に出力制御が発生する蓋然性は低い見通し。また、斜線を引いている部分は、見通しの算定を実施していない

出典：各エリア一般送配電事業者

(参考) 出力制御の見通しの算定に関する考え方

(出所) 第35回 系統ワーキンググループ (2021年10月28日) 資料5

- 需給バランスによる出力制御の見通しの算定に当たっては、年に1回、各一般送配電事業者から見通しを公表していたところ、再エネの導入拡大が進む中、その公表の在り方について御議論いただきたい。
- 今年度の算定に当たっては、本WG等においてとりまとめる出力制御低減策に係る基本的方向性を踏まえ、試算結果を提示することとしてはどうか。
- また、上記の試算結果の公表に加えて、通常想定される需給バランスにおいて、2022年度に再エネ出力制御が生ずる蓋然性の高いエリアにおいては、短い時間軸における予見可能性を高める観点から、追加的に最新の補修計画等を反映し、2022年度の出力制御見通しについても試算・公表する。
- 一方で、これまでと同様、これらの出力制御の見通しは、前提と同様の条件が揃った場合に発生するため、実際に発生する出力制御の時間数等については、電力需要や電源の稼働状況等によって変動することや、あくまでも試算値であり、一般送配電事業者が上限値として保証するものではないことに留意する必要がある。

(参考) 2022年度の出力制御見通しのイメージ

(出所) 第35回 系統ワーキンググループ (2021年10月28日) 資料5

- 短期的な出力制御見通しについては、これまで、出力制御の実績のあった、九州電力送配電のみ、公表を行ってきたところ。
- 今後、通常想定される需給バランスにおいて、**2022年度に再エネ出力制御が生ずる蓋然性の高いエリア**においては、短期的な予見可能性を高める観点から、これまでの九州電力送配電の分析方法を可能な限り参考にしつつ、**2022年度の出力制御見通しについても試算・公表**することとしてはどうか。
- またその中で、**エリア全体がオンライン化した場合**の出力制御率についても、試算・公表することとしてはどうか。

2021年9月30日系統ワーキンググループ 第31回 資料1 - 5九州電力送配電

<2021年度太陽光出力制御見通し (各制御区分別) > (%、[億kWh])

	出力制御率 ^{※1} [制御電力量]				
	制御対象設備のみ				全設備
	旧ルール オフライン	旧ルール オンライン	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	
前回 ^{※2} (2020年12月時点)	12.1 [4.2]	5.4 [0.7]	3.3 [1.1]	7.3 [6.1]	4.6
今回	12.3 [2.7]	6.4 [1.6]	4.9 [1.5]	7.5 [5.8]	4.6

※1 各区分の太陽光出力制御量/各区分の太陽光総発電量(出力制御量含み)にて算出。全設備は出力制御対象外設備を含む太陽光総発電量(出力制御量含み)に対する太陽光出力制御量の割合を示す。

※2 第28回系統WG (2020.12.11)での掲載値。